

## 特集 性暴力

### 「起きた後／起こる前」に 支援者は何ができるか？

#### 1 性暴力を考えるために

- 153 性暴力を考える ● 齋藤 梓
- 159 対談 | 性と暴力  
—— 時と知を継ぐために ● 村本邦子・信田さよ子
- 169 鼎談 | 経験と成熟  
—— 当事者と専門家の境界を越えて ● 齋藤 梓・西田なつみ・宮崎浩一
- 179 インタビュー | 暴力と回復  
—— 終わりある時と永遠のあいだで ● 宮地尚子
- 188 心理臨床と性暴力／セクシュアル・ハラスメント ● 松森基子
- 194 知っておきたい法律  
—— 性暴力・性犯罪・ハラスメント ● 上谷さくら

#### 2 性暴力が起こった後に——支援をめぐる様々な課題

- 199 子どもを守る司法面接と心理支援 ● 田中晶子
- 203 子どもが性暴力被害にあったら？  
—— 子どもと周囲への介入 ● 野坂祐子
- 207 子どもに「性問題行動」が見られたら？  
—— 介入と教育を連動させる ● 浅野恭子
- 213 性暴力被害にあった女性を支援する ● 北仲千里
- 217 性暴力被害にあった男性を支援する ● 西岡真由美
- 221 性暴力被害にあったLGBTIQ+を支援する ● 岡田実穂
- 226 性暴力加害者にどう対応すべきか？  
—— 加害者臨床入門 ● 古賀絵子

#### 3 性暴力を起こさないために——予防をめぐる様々な課題

- 230 学校における子どもの性暴力 ● 櫻井 鼓
- 234 障がい福祉領域における性暴力被害者支援を考える ● 伊庭千恵
- 239 沈黙する職場のセクシュアル・ハラスメントを問い直す ● 中野葉子
- 244 病院の性暴力／セクシュアル・ハラスメントに対応する ● 今北哲平

#### ◎投稿

##### 【原著論文】

- 251 行動の活性化と回避がアンヘドニアに及ぼす影響——6カ月間の縦断的調査による検討  
● 山本竜也・首藤祐介

#### ◎リレー連載

臨床心理学・最新研究レポート  
シーズン3

- 261 第51回「診断ラベルは精神疾患のある者に対する社会的反応にどのような影響を与えるか？——ビネットを用いた実験的研究の系統的レビュー」  
● 谷口あや

主題と変奏——臨床便り

- 267 第71回「グローバル化と多様性がもたらす葛藤／格闘」  
● 近藤(有田) 恵

#### ◎追悼

- 268 村瀬嘉代子先生を偲ぶ  
● 黒木俊秀
- 269 村瀬嘉代子先生を偲んで  
● 橋本和明

#### ◎書評

- 271 村澤和多里・村澤真保 著『異界の歩き方——ガタリ・中井久夫・当事者研究』  
● 評者：江口重幸
- 272 斎藤 環 著『イルカと否定神学——対話ごときでなぜ回復が起こるのか』  
● 評者：岡本亜美
- 273 矢原隆行 著『矯正職員のためのリフレクティング・プロセス』  
● 評者：家崎 哲
- 274 山崎孝明 著『当事者と専門家——心理臨床学を更新する』  
● 評者：川畑直人
- 275 山口貴史 著『サイコセラピーを独学する』  
● 評者：岩壁 茂

- 249 次号予告
- 260 実践研究論文の投稿のお誘い
- 277 投稿規定
- 278 編集後記
- 266 金剛出版ワークショップ2025  
「児童・青年期の臨床作法」